

安全データシート

整理番号 : SIR01LAG

作成 : 1994年 1月 5日
R6 : 2020年 5月 1日

1 化学物質等及び会社情報

製品情報

製品名 : Si(OCH₃)₄ テトラメトキシシラン Silicon tetramethoxide

カタログ#	純度	形状	備考
SIR01LB	99.9999% (6N)	無色液体	—

会社情報

会社名 : 株式会社 高純度化学研究所

住所 : 〒350-0284 埼玉県坂戸市千代田 5-1-28

電話 : 049 (284) 1511 F A X : 049 (284) 1351

作成部門 : 品質保証部

推奨用途及び使用上の制限 : 試験研究用

2 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性	環境に対する有害性	物理化学的危険性
急性毒性(吸入 : 蒸気) : 区分 1 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分 1 特定標的臓器毒性(単回暴露) : 区分 2 特定標的臓器毒性(反復暴露) : 区分 1, 2	データなし	引火性液体 : 区分 2

GHSラベル F, T, R, C

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報	注意書き
引火性の高い液体及び蒸気 吸入すると生命に危険 重篤な眼の損傷 臓器の障害のおそれ(肺) 長期又は反復暴露による臓器の障害(呼吸器) 長期又は反復暴露による臓器の障害のおそれ(腎臓)	引火源、着火源及び熱源を避ける。 防爆型の装置、機器を使用すること。 静電気放電に対する予防措置を講ずること。 取り扱いの際には保護眼鏡、手袋、保護マスク、保護衣他必要な保護具を着用すること。 粉塵、ミストの吸入を避ける。取扱い中の飲食喫煙を避け取扱い後は手洗いを励行。 汚染された衣類は直ちに脱ぎ、再使用時には洗濯すること。 使用時以外は容器を密閉しておくこと。 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。 消火の際には防火服を着用し、消火方法を事前に確認すること。 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、楽な姿勢で休息させる。 眼に入った場合、流水で数分間注意深く洗う。刺激が続く場合は、医師の診断を受ける。 皮膚についた場合、直ちに汚染された衣類をすべて取り除き、皮膚を多量の流水/シャワーで流しながら石鹸を用いてよく洗い落とす。皮膚に異常があれば医師の診断を受ける。 直ちに医師の診断/手当てを受けること。 暴露した時、または気分が悪い時は医師に連絡すること。 涼所に置き、日光を避ける。容器を密閉して換気の良いところで保管する。 施錠して保管すること。 内容物/容器を法規に従って廃棄すること。

国・地域情報 : ・ 労働安全衛生法 表示・通知対象物(テトラメトキシシラン), 危険物・引火性の物
 ・ 消防法 危険物 第四類 引火性液体 第二石油類 非水溶性液体
 ・ 毒物及び劇物取締法 毒物(オルトケイ酸テトラメチル及びこれを含有する製剤)

その他の危険有害性 : ・ 該当項目に参考情報を記載した。

High Purity Materials
KOJUNDO CHEMICAL LABORATORY CO.,LTD.

株式会社 高純度化学研究所

3 組成, 成分情報	単一製品, 混合物の区分: 単一製品
化学名: テトラメトキシシラン	Tetramethoxysilane
別 名: オルトケイ酸テトラメチル オルトケイ酸四メチル	Silicon tetramethoxide Methyl orthosilicate
化学式: Si(OCH ₃) ₄	組 成: 100 %
P R T R 法: ・ 非該当	
官報公示整理番号: ・ 化審法 既存化学物質 2-2048	
C A S #: 681-84-5	RTECS#: VV9800000
T S C A : 登録	E I N E C S : 2116564
4 応急措置	
目に入った場合: ・ 流水で眼を最低 15 分間洗浄し、眼科医の手当を受ける。 ・ 洗眼の際、瞼を指でよく開いて、眼球・瞼の隅々まで水が行き渡るようにする。 皮膚に着いた場合: ・ 付着した物質を布などでよくぬぐい落とした後多量の水を流しながら、石鹸を使ってよく落とす。 ・ 外観に変化が見られたり、痛みが続く場合は、医療処置を受ける手配をする。 吸入した場合: ・ 被災者を空気の新鮮な所に移し、医療処置を受けさせる。 ・ 鼻をかませ、うがいをさせる。 飲み込んだ場合: ・ 直ちに医療処置を受ける手配をする。水でよく口の中をうがいさせる。	
5 火災時の措置	
一般的注意: ・ 消火の際には必ず保護具を着用する。刺激性又は有毒ガス発生のおそれがある。 ・ 水と接触すると加水分解してメタノールを生じる。 消火方法: ・ 危険でなければ安全な場所に容器を移す。移動不可能な場合は、散水冷却する。 ・ 初期火災には、粉末、炭酸ガス、乾燥砂等を用いる。 ・ 大規模火災には、散水、水噴霧、耐アルコール性泡消火剤を用いる。 ・ 棒状の水の使用は火災を拡大し危険な場合がある。 ・ 周辺火災の場合、周囲の設備等に散水して冷却する。 消火剤: ・ 粉末、炭酸ガス、泡(耐アルコール性)、乾燥砂	
6 漏出時の措置	
一般的注意: ・ 可能であれば漏れを止める。不必要にこぼれた物に触れない。 処理作業者に対する注意: ・ 付近の着火源になる物を速やかに取り除く。 ・ 作業の際には必ず保護具を着用し、ミスト、蒸気の付着・吸入を防ぐ。 ・ 屋内の場合処理が終わるまで十分に換気する。屋外では風上から作業する。 環境影響に対する注意: ・ もれ出た物質や希釈水が河川等に排出されないよう注意する。 もれ出た物の処理に対する注意: ・ 乾燥砂等に吸収させて掃き集め、密閉できる空容器に回収する。	

7 取り扱い及び保管上の注意

取扱上の注意

- * 一般的注意: ・ 大気中の水分と反応して分解するので、乾燥した不活性ガス中で扱うこと。
 - ・ 本製品は毒物劇物取締法の毒物です。取り扱いに当たっては被毒しないよう充分注意を払って下さい
- * 作業者の暴露防止: ・ 適切な身体保護具を着用し、局所排気装置を利用して作業者が物質に触れないよう、また物質の蒸気を吸引しないようにする。
 - ・ 取扱いは、換気の良い場所で行う。
- * 火災や爆発の防止: ・ 火気、加熱 衝撃 摩擦を避け、静電気 衝撃 火花等による着火源の生じないようにする。

保管上の注意

- * 一般的注意 :
 - ・ 容器内部を乾燥した不活性ガス雰囲気にして密閉し、乾燥した冷暗所に保管する。
 - ・ 直射日光を避け、高温物を近付けない。
 - ・ 電気器具は防爆構造とし、裸電球等を使用しない。
- * 混合貯蔵 :
 - ・ 類を異にする危険物と同一の場所に貯蔵しない。

8 暴露防止及び保護措置

管理濃度 : 作業環境評価基準(2017) 規定なし

許容濃度 : 下表参照(－:記載無し)

成分名	機関名	産衛学会 (2018)		ACGIH (2019)	OSHA (2006)
		(A) mg/m ³	(B) ppm	TLV-TWA ppm	PEL-TWA mg/m ³
テトラメトキシシラン		6	1	1	—

(A) (B)は単位違いで同一値、TLV, PEL ; いずれも許容濃度

設備対策 :

- ・ 製品に暴露される可能性のある場合は局所排気設備等の排気設備を使用すること。
- ・ 大気中で不安定なので不活性ガス雰囲気で密閉された装置／機器中で取り扱う。

保護具 : 防毒マスク(有機ガス用), ゴーグル型保護眼鏡, 保護手袋, 保護長靴 等

9 物理的及び化学的性質

注) 指数以外の右肩付数は温度(°C)

外 観 等 : 無色液体

化 学 式 : Si(OCH₃)₄

式 量 : 152.2

融 点 : -4 °C

沸 点 : 121 °C

密 度 : 1.03 g/cm³ (20 °C)

引 火 点 : 20 °C (密閉式)

蒸 気 圧 : 2.2 kPa (20 °C)

溶 解 性

* 水 : 分解

燃焼性 : 可燃性である。

酸化性 : なし

10 安定性及び反応性

化学的安定性 : 容器内部を乾燥した不活性ガス雰囲気にして密閉し、室温保存で安定である。

反応性 :

* 避けるべき条件 : 熱, 着火源, 湿気

* 混触危険物質 : 酸化剤, 還元剤

11 有害性情報

急性毒性(経皮) : GHS 判定 区分に該当しない。

・ 経皮 ウサギ LD50 = 17400 mg/kg (オランダ評価文書(2004))

急性毒性(吸入:蒸気) : GHS 判定 区分1; 吸入すると生命に危険

・ 吸入:蒸気 ウサギ LC50(4hr) = 53 ppm (オランダ評価文書(2004))

急皮膚腐食性/刺激性 : GHS 判定 データなし。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : GHS 判定 区分1; 重篤な眼の損傷

呼吸器感作性/皮膚感作性 : GHS 判定 データなし。

生殖細胞変異原性 : GHS 判定 データなし。

・ 変異原性が認められた既存化学物質等 (平成 30 年 12 月 5 日現在) に該当しない。



High Purity Materials
KOJUNDO CHEMICAL LABORATORY CO.,LTD.

株式会社 高純度化学研究所

発がん性：・ GHS 判定 データなし。

- ・ 日本産業衛生学会(2018), IARC(2018), NTP(2016), ACGIH(2019)による発がん物質に記載なし。

生殖毒性：・ GHS 判定 データなし。

特定標的臓器毒性

単回曝露：・ GHS 判定 区分 2；臓器の障害のおそれ(肺)

反復曝露：・ GHS 判定 区分 1；長期又は反復暴露による臓器の障害(呼吸器)
区分 2；長期又は反復暴露による臓器の障害のおそれ(腎臓)

誤えん有害性：・ GHS 判定 データなし。

1 2 環境影響情報

水性環境有害性短期(急性)/ 長期(慢性)：・ GHS 判定 データなし。

オゾン層への有害性：・ GHS 判定 データなし。

- ・ フロン, ハロンでない。

分解性：・ 現在のところ知見なし。

蓄積性：・ 現在のところ知見なし。

魚毒性：・ データなし。

土壤中の移動性：・ 現在のところ知見なし。

1 3 廃棄上の注意

廃棄方法：・ 専門の業者に委託する。

特別管理産業廃棄物：・ 特別管理産業廃棄物の特定有害産業廃棄物に該当する。(廃油)

1 4 輸送上の注意

国連分類：クラス 6.1(毒物；P.G I)

国連番号：2606

輸出統計：2920.90-000

輸入統計：2920.90-090

陸上輸送：

- ・ 道路法： 危険物 水底トンネル等の通行制限物質 消防法危険物
- ・ 消防法： 危険物 第四類 引火性液体 第二石油類 非水溶性液体
危険等級：Ⅲ 指定数量：1000 L
- ・ 毒物及び劇物取締法： 毒物（毒物及び劇物指定令第一条）
5号の2 オルトケイ酸テトラメチル及びこれを含有する製剤
- ・ 高圧ガス保安法： 該当せず。

海上輸送

- ・ 船舶安全法： 危険物 毒物類 毒物 品名：オルトケイ酸メチル[テトラメトキシシラン]
副次危険性：3 容器等級：I
積載場所 旅客船以外及び旅客が規定数以下の旅客船 甲板上/一；旅客が規定数以上の旅客船 積載禁止
- ・ 港則法： 危険物 その他の危険物 毒物

航空輸送

- ・ 航空法： 積載禁止

海洋汚染：

- ・ 海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律：・ 該当しない。

1 5 適用法令

◆規制条項

- ・ 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律：◇新規公示化学物質 2-4149
- ・ 労働基準法：◇規制なし。労働安全衛生法に重複する内容は省く。

- ・ 労働安全衛生法：◆危険物・引火性の物
- ・ 毒物及び劇物取締法：◆毒物（毒物及び劇物指定令第一条）
5号の2 オルトケイ酸テトラメチル及びこれを含有する製剤
- ・ 消防法：◆危険物 第四類 引火性液体 第二石油類 非水溶性液体
- ・ 化学物質管理促進法（P R T R 法）：◇非該当
- ・ 道路法：◆危険物 通行制限物質 消防法危険物
- ・ 船舶安全法：◆危険物 毒物類 毒物
- ・ 港則法：◆危険物 その他の危険物 毒物
- ・ 航空法：◆積載禁止
- ・ 外国為替及び外国貿易管理法
 - * 輸入貿易管理令：◇自由化品目
 - * 輸出貿易管理令：◆別表第一 該当
- ・ 環境基本法：環境基準 ◆大気（浮遊粒子物質）◆水質（浮遊物質、COD、BOD）◇土壌（一）
- ・ 大気汚染防止法：◆粉じん、ばい煙；ばいじん
- ・ 特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律：◇特定物質でない。
- ・ 悪臭防止法：◇悪臭物質に該当しない。
- ・ 下水道法：◆水質基準（浮遊物質、窒素含有量、アンモニア性窒素 COD、BOD）
- ・ 水質汚濁防止法：◆排水基準（浮遊物質、アンモニウム化合物、窒素含有量、COD、BOD）
◆地下浸透規制（アンモニウム化合物）
- ・ 土壌汚染対策法：◇該当なし
- ・ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律：◆特別管理産業廃棄物（廃油）
- ・ 海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律：◇海洋汚染物質に該当しない。

1 6 その他

参考文献：

- 1) JISZ7252（2019）；GHS に基づく化学品の分類方法
- 2) JISZ7253（2019）；GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法
ーラベル，作業場内の表示及び安全データシート（SDS）
- 3) 事業者向け GHS 分類ガイド（平成 25 年度改訂版（ver. 1.1））経済産業省
- 4) 化学物質総合情報提供システム（CHRIP；（独）製品評価技術基盤機構（NITE））
- 5) STN Registry File

注意事項：・ この安全データシート（SDS）は製品の危険、有害性等に関する情報を提供するものです。製品の品質や性能、安全性（物性値、危険有害性情報等）についてはいかなる保証をなすものではありません。

記載内容は作成時点において入手可能な資料、経験に基づき作成しておりますが、情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合に修正、追加されることがあります。

ご使用の際は、使用される国、地域などの法規制情報等をご使用者において調査され、最優先していただくとともに、安全に注意してご使用ください。また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであって、特別な取り扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策をお願いいたします。